

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士専攻科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	システム・情報処理実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	PC室
担 当 教 員	高清水 直美	実務経験とその関連資格	島根大学総合理工学部・全学センターで教育研究の経験がある			
《授業科目における学習内容》						
臨床の場で利用されるデータベースを中心に、マクロプログラムまで含めて応用できるように実習する。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート、小テスト、学期末テストによって評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考書: ExcelVBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本(秀和システム)						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
プログラム作成は論理的思考と精緻な操作が必要である。正しく動作するまで何度も繰り返しながら取り組むこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	マクロとVBAの基本について理解し、操作できる。	ExcelVBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本(第1・2章)		
		各コマにおける授業予定	◆マクロとVBA、VBA記述の基本			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	オブジェクトとプロパティについて理解し、説明できる。	ExcelVBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本(第3章)		
		各コマにおける授業予定	◆オブジェクトとプロパティ			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	プログラミング言語の演算子について理解する。 IFステートメントを用いた条件分岐が記述できる。	ExcelVBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本(第4章)		
		各コマにおける授業予定	◆演算子、IFステートメントによる条件分岐			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	プログラミング言語の変数について理解する。 Forステートメントを用いた繰り返し処理が記述できる。	ExcelVBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本(第5章)		
		各コマにおける授業予定	◆変数、Forステートメントによる繰り返し処理(1)			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	プログラミング言語のデータ型について理解する。 Do Whileステートメントを用いた繰り返し処理が記述できる。	ExcelVBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本(第5章)		
		各コマにおける授業予定	◆データ型、Do whileによる繰り返し処理(2)			

授業の方法		内 容		使用教材	
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	データベースを作成し、データの選択や更新処理ができる。	ExcelVBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本(全章)	
	実習形式	各コマにおける授業予定	◆データベース(1)		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	データベースを作成し、データの選択や更新処理ができる。	ExcelVBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本(全章)	
	実習形式	各コマにおける授業予定	◆データベース(2)		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	簡単なプログラムの仕様設計からコーディングまで行うことができる。	ExcelVBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本(全章)	
	実習形式	各コマにおける授業予定	◆自由作品の製作		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標			
	実習形式	各コマにおける授業予定			
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標			
	実習形式	各コマにおける授業予定			
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標			
	実習形式	各コマにおける授業予定			
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標			
	実習形式	各コマにおける授業予定			
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標			
	実習形式	各コマにおける授業予定			
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標			
	実習形式	各コマにおける授業予定			
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標			
	実習形式	各コマにおける授業予定			